

## Lac caninum 犬の母乳 [左右に移動する痛み]

Dog's milk

### BACKGROUND

Lac caninumは、授乳中の雌犬から採取した犬の母乳が原料です。通常、出産後約2週間たった頃に採取されます。犬種は雑種が使われることが多いようです。

犬の乳は、古代ローマ時代から医療用に用いられてきました。子宮内で死亡した胎児の娩出や子宮頸管の潰瘍病変、卵巣疾患などの女性生殖器系の疾患に用いられたほか、毒物の解毒や光線過敏症や内耳炎、ジフテリアの治療にも使用されていました。



犬の母乳は、他の動物の母乳と同様に多くの栄養成分が入っていて、そのすべては明らかになっていません。主な成分には、乳糖、オリゴ糖、脂肪、カゼイン、カゼイノグリコペプチド、カゼインロスホペプチド、カゼインホスホペプチド、アルブミン、グロブリンに代表される各種蛋白質、各種ミネラル、ビタミン群、多くの酵素などが含まれています。その割合は、成熟乳の平均値で、水分75.1%、蛋白質8.5%、脂肪分10.2%、糖分3%、ミネラル分0.5%となっています。

また、各種ステロールやプロラクチンのほか、アンドロゲン、プロゲステロンに代表されるホルモン誘導体が入っていることがわかっています。プロラクチンは、免疫増強作用と乳腺を刺激して乳汁を分泌させるように働きます。トリプトファンは、セロトニンの前駆体であり、神経を鎮静させて非常に弱い誘眠作用をもつとされています。

授乳中の母犬の体内では、脳下垂体前葉から分泌されるプロラクチンのほか、下垂体後葉からは乳汁分泌促進作用と消化管ホルモンの分泌促進作用をもつ、オキシトシンの分泌が盛んになります。そして、母犬の小腸上部から、コレシストキニンというホルモンの分泌が促進されます。このホルモンは、腸からの栄養吸収促進作用のほか、脳に作用して穏やかに睡眠脳波を

誘発する働きがあります。

### MATERIAL

イヌの母乳

### FIRST PROVING

Reisig

### MIND

Lac caninumタイプは、犬のように、興奮しやすく、外向的です。しかしながら、犬が長い歴史の中で人に飼い慣らされ服従しているように、独立心や自信、自尊心に欠ける傾向があります。また、劣等感や精神的依存、感情の抑圧といった飼犬特有の性質をもっていることもあります。人の乳は胸から、犬の乳はそれより下方の腹部から出ますが、このタイプの人も仲間の中で、自分を少し下に見ているようです。犬同様に仲間とともにいることは好きです。

非常に忘れやすいです。落ち着きがなく、集中力が弱い面があり、読み書きしているときによく間違えます。買い物に行っても、肝心なものを買わずに帰ってきてしまうことがあります。

感覚刺激に敏感で、音や光、そして触られることにも過敏です。さまざまな怖れもっています。もっとも怖いのは、ヘビです。ヘビの夢をみることがあります。ほかにも病気や死、意識が遠のくこと、精神異常、嵐や地震などの天災、毒グモ、犬などを怖がります。怖れや不安感から、発作的に攻撃的になることもあります。不用意に触られることも嫌います。

病気になると、身体の左右交互に起こる症状になる傾向があります。歩いているときには、空中を歩いているかのような感覚、横になっているときは、ベッドに触れていないような感覚になることがあります。足先が敏感になり、熱感を感じる場合があります。温血タイプのことが多いようです。手を洗うのが好きです。

犬のように食欲は旺盛です。塩味の強い食べ物や、スパイスの利いた食べ物を好みます。甘い物はあまり食べません。温かい飲物やウイスキーなどを好みます。牛乳はあまり飲みません。

### AFFINITY

Lac caninumは、神経、喉、女性生殖器、乳腺に親和性があります。

## CLINICAL APPLICATIONS

Lac caninum は、犬が尻尾を左右に振るように、症状が患部周辺を左右交互に動く傾向がある場合（数時間ごとあるいは数日ごと）には、このレメディを考慮します。

### ■女性生殖器系

- ・月経前症候群
- ・乳腺疾患：月経前に乳腺が腫れて、左右交互に痛みます。わずかな動きでも痛みが増します。
- ・授乳中の母乳不足
- ・授乳中の母乳過剰
- ・骨盤周辺の重苦しさ
- ・卵巣痛：痛みが左右に移動します。月経中に楽になります。
- ・女性器からの不正出血：月経間期や性交の後などに出血します。帯下に出血が混ざることもあります。
- ・外陰部の過敏症：接触や圧迫にきわめて敏感になります。風呂で洗うときや、衣服が擦れることにさえ敏感に反応します。そのため性交痛が起こることもあります。

### ■精神神経系

- ・恐怖症：ヘビ恐怖症のほか、病氣や死、天災、犬、クモ、運転、失神などを怖れます。
- ・悪夢：ヘビやクモなどに関連する好ましくない夢を見ます。
- ・頭痛：とくに前頭部と後頭部の頭痛。眼精疲労や眼球を上を動かすと悪化します。また冷たい風に曝さ

れると悪化し、暖かい部屋で改善します。

- ・めまい：フワッと浮いているように感じます。歩いたり、ベッドに横たわるとその感覚が強まります。
  - ・神経過敏症
  - ・妄想性障害
  - ・神経痛
  - ・関節炎：痛みが左右側に動きます。
  - ・リウマチ
  - ・坐骨神経痛
  - ・結合組織炎
- ### ■呼吸器系
- ・喉の痛み：喉が焼けるように左右交互に痛みます。痛みは、耳のほうにまで広がることがあります。痛みは、冷たい飲物で改善します。
  - ・副鼻腔炎
  - ・扁桃炎
  - ・咽頭炎

## MODALITY

- ▶ 寒さ、新鮮な空気、冷たい飲物、鼻血、散歩など
- ◀ 寒さ、急な動き、触られること、生理中、睡眠後、階段の昇降、咳、くしゃみ、冷たい風など

### ●主なイヌ科のレメディ

Lac caninum, Lac lupinum, Pulmo vulpis, Lyssinum, Dog fur, Canine parvovirus, Canine kennel cough, Canine hepatitis, Canine mast cell carcinosin, Canine distemper

## Lac defloratum 牛の乳(スキムミルク) [牛乳による不調]

Skimmed milk

### BACK GROUND

牛乳は紀元前4000年頃、エジプトやメソポタミアではすでに利用されていました。

牛乳を生産する代表的なホルスタイン種の牛は、1頭で年間6,000～7,000kgのミルクを出します。ジャージー種では年間4,000kgです。その他の乳牛の種類としては、エアシャー種、ガンジー種、ブラウンスイス種、シンメンタール種などがあります。

牛乳の沸点は、100.55℃、氷点はおよそ-0.5℃です。pHは通常弱アルカリ性の6.4～6.8です。古くな

ってくると酸性になってpHは低下していきます。初乳のpHは、6.0です。比重は、組成、とくに脂肪含量によって影響されますが、平均1.032です。

牛乳の色は新鮮な状態では白色不透明で、これは牛乳中に分散しているカゼイン粒子や脂肪球が光を乱反射させて白色を呈しているからです。また、ときにはわずかに淡黄色を帯びていることもあります。この色は、脂肪中に存在するカロチンやキサントフィルによるものです。

牛乳の主な成分には、乳蛋白質、乳脂肪、乳糖、ミ